

憤り小たてしめて又傷小よのい脇板
佐渡守安経と殺害し同王水正安信及
ひ長純小傷くたまふりて六月廿日
小死滅たまひて家絶ふり家譜
常刀長賢かた備中守也者り五男あり
家譜山坪小生るこしめ左門と稱々名
とも長治かつらとふ慶長十二年五歳より
して江戸にゆり元和三年十四歳の時

大猷院殿小拜謁し清近習小召仕り
寛永後清小性しんとありノ廩米五百俵以
賜ふ同八年六月清小性組しん組頭小轉し

同九年

大猷院殿清上洛ししんに供奉しん
寛永清小八年しんのしん從五位下しんに叙し清家内
に供奉しん清しんにしん同年新恩五百石と
賜ひ廩米とありたため武藏國埼玉郡しん

内小とて采地千石と知行は寛永三年
清入洛のときに従ひ奉るはとて常陸國
真壁新治下野國芳賀三郡のうち小と
いふ二千石に加へて家譜同十年六月に
矢張地を没せしめたる清日記同十一年
六月清書院の番頭小とてみたりと洛
小とてせ給ふ小扈從同十二年十二月
小總國香取匝播兩郡のうち小とて三

千石に加恩ありとて六十石と知行
は廣安三年同十月清使とて加賀
國小がもじり同年十月大番頭小と

清日記 今の寄合池田
信三郎長休の祖なり

修理長信、備中守長幸の二男小と
て出雲守長常の弟なり

後述する小寛永譜
は二男の系にかく

長幸はとてめ次を瑞とて廣長元年

とてめと